

取材を終えて

取材に協力していただいた各図書館で実施している利用講座の主な受講者層は、中高年が多いとのこと。生涯学習のツールとしてデータベースを活用してもらえるのは有難い反面、どの図書館も将来のある若い世代にも、もっとデータベースを利用してもらいたいという共通した思いがありました。そのためには、まず若い方々に図書館でデータベースが利用できること、またその利用価値について知ってもらう必要があります。

新潟県立図書館では、これまでにデータベースを利用した子ども向けの企画を実施されました。
 新潟市立中央図書館では、ビジネス支援に力を入れることで利用者層に変化があったそうです。
 上越市立直江津図書館では、地元の中高生が利用しやすい環境づくりを進めています。

最後にこれらの、利用率向上の創意工夫を称えてジャパンナレッジより感謝状をお渡ししたことをお伝えしておきます。



新潟県立図書館

上越市立直江津図書館

新潟市立中央図書館

【各図書館への問い合わせはこちら】

新潟県立図書館	TEL 025-284-6001 (代表) / FAX 025-284-6832 025-284-6824 (調査相談・貸出延長) 025-284-6679 (テレフォンサービス)
ほんぽーと新潟市立中央図書館	TEL 025-246-7700 (代表) FAX 025-246-7722 e-mail: chuo.cl@city.niigata.lg.jp
上越市立直江津図書館	TEL 025-545-3232 FAX025-543-2067

ジャパンナレッジは貴館の講習会を応援いたします！



「ジャパンナレッジ」では、利用率向上のために、講習会のお手伝いをいたします。「ジャパンナレッジ」の使い方などの講習会に限り、ご契約内容に応じて、講師を派遣いたします。まずは、下記宛にお気軽にご相談ください。



地域情報を利用した ジャパンナレッジ活用の手引きの作り方

図書館利用者に地域情報などの馴染みやすい題材からジャパンナレッジに親しんでいただき、図書館での利用率向上にお役立てください。ここでは群馬県の昔話「分福茶釜」を例に作成します。

データベース「ジャパンナレッジ」活用法 昔話『分福茶釜』を調べて群馬を知る



まずは！

ジャパンナレッジで「分福茶釜」を検索しましょう！検索ウィンドウに「分福茶釜」と入力し、検索ボタンを押します。

※ただのお茶道具ではないらしい。動物？海の生き物？

基本検索は言葉を入力したら、すぐ引ける簡単な検索です。全文検索もできます。

JKワンポイント
 ジャパンナレッジでは、OneLook検索と異なり、百科事典、国語辞典、歴史事典、外国語辞典 etc. 一度の検索で全てのコンテンツに検索をかけられます。

さらに！

「分福茶釜」に関係する事柄を全文検索で調べてみましょう。「分福」と「文福」の二通りの字があることがわかるので、「詳細検索」で「分福茶釜」「全文検索」OR「文福茶釜」「全文検索」とします。

※文福茶釜のような話はなんとというジャンル？

詳細検索は検索範囲や条件、検索語の組み合わせ方を細かく指定できます。

JKワンポイント
 ジャパンナレッジでは見出しだけでなく、全文にも検索がかけられます。本文中にその語を含む項目を調べることができます。

もっと！

「分福茶釜」の伝説を実際に読みたい！こんな時、ジャパンナレッジには『東洋文庫』が収録されています。『東洋文庫』の「個別検索」で全文検索を試してみましょう。「全文(ページ)を探す」「分福茶釜」「全文検索」OR「文福茶釜」「全文検索」とします。

※いくつも載っているのでも、読み比べてみましょう。

東洋文庫 個別

個別検索とは、コンテンツに特化した検索です。基本検索、詳細検索の右にあるコンテンツ一覧の「個別」ボタンから個別検索ページに移動します。

対象：○書籍名を指定 ※全文ページを指定
 検索語： 範囲： 条件：
 分福茶釜 全文 部分一致
 または (OR) 文福茶釜 全文 部分一致
 かつ (AND) 全文 部分一致

JKワンポイント
 ジャパンナレッジには辞書だけでなく、「東洋文庫」や「文庫クセジュ」、「新編古典文学全集」など本のシリーズも入っており、もちろん全文検索もできます。

この資料では
 ・ジャパンナレッジの検索の種類
[基本検索](#)・[詳細検索](#)・[個別検索](#)
 ・詳細検索の機能
[検索範囲](#)・[検索条件](#)・[検索語の組み合わせ](#)
 を、一通り体験できます。

① 検索範囲とは
見出し：事典・辞書の項目名
別名：項目になっている別名のみ検索
派生語：派生語のみ（主に外国語）
タイトル：叢書、記事のタイトルから検索
全文：本文を検索（記事、叢書は個別検索でのみ検索できます）

② 検索条件とは
 「時代」と入力したとき、以下の条件で検索します。
 完全一致：「時代」のみ
 前方一致：「時代～」時代が先頭にあるもの全部
 後方一致：「～時代」時代が末尾にあるもの全部
 部分一致：「～時代～」をどこかに含むもの。前方一致も後方一致も含む

③ 検索語の組み合わせとは
 二つ以上の語を組み合わせで検索できます。
AND：A AND B
 AもBも含むものを検索
OR：A OR B
 AかBを含むものを検索
NOT：A NOT B
 Aを含んでいてBを含まないものを検索

ジャパンナレッジで県にどんな伝説や昔話があるか調べられます

●『日本大百科全書(ニッポニカ)』で調べる
 調べたい県名で検索→検索結果の『日本大百科全書(ニッポニカ)』を見る→ページの下の方に伝説や民話の項目があります。

●『歴史地名大系』で調べる
 (ご契約コース NR, NRK でのご利用となります)
 『歴史地名大系』個別検索→調べたい県の名を選択→「説話」で全文検索する。

●『日本架空伝承人名事典』で調べる
 詳細検索、基本検索で『日本架空伝承人名事典』のみを選択→県名、旧国名、地名などで全文検索する。

この資料は WEB からダウンロードできます。書き換えて講習会などにお役立てください。
http://www.jkn21.com/common/member/corp/co_pamph.html

新潟に見る、これからの図書館づくり

ジャパンナレッジ（以下 JK）をはじめとしたオンラインデータベースの活用に特に力を注いでいる新潟の3つの公共図書館。各館それぞれ特色のある「新しい図書館づくり」の試みから、これからのデータベース活用法が見えてきました。

利用者増に結びついた「魅力ある図書館づくり」

——新潟県立図書館 有本教子さん 岸本彩さん

自分たちの手で少しずつ改革を

実は、当館は平成13年～19年にかけて利用者が減少してしまっただけで、そこで、新しい館長のもと「魅力ある図書館づくり」として方針を立て、いろいろな取り組みを行いました。その一環として、閲覧室を広げたり館内のレイアウトを変更したり、少しずつ改修を重ねてみました。結果、平成20年から再び増加していき平成21年には40万人、平成22年には46万人にまで増やすことに成功しました。

2週間ごとの返却期限に来てくださる利用者の方にとっても、たとえ小さなことでも施設に変化があるというのはポイントだと思うのです。そのため、ここ4年間で、館内案内図も幾度となく修正しなければなりません。しかし、いろいろな改革の結果がすぐに数字になって表れたので、職員もモチベーションが上がりましたね。



レファレンスツールとしてのJK

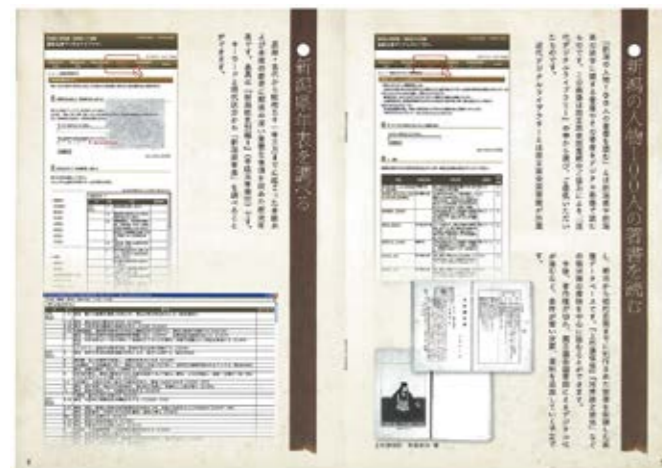
先月、新潟県内の司書向けのレファレンス研修があり、「国連の機関の機構図が見たい」という質問にどのチームも苦戦していました。

そこで、JKで検索したところ3件目くらいに「現代用語の基礎知識」（自由国民社）が出てきました。普通の事典とは構成が違うので一般の利用者の方には調べ方が少し難しい「現代用語～」も、JKなら検索をかければすぐにヒットします。しかも、紙媒体とも比較しやすいので便利だと感じましたね。

当館で実施していたデータベース利用講座でも、最後には演習問題を用意しました。やはり、最初はこちらから検索方法を誘導しないと、一般利用者の方には使いづらいですからね。

将来的には、リテラシー教育の一環として子ども向けのデータベース講座も考えています。

また、いろいろな講演会を開催しているので、講演会後にデータベースと蔵書で講演内容について調べをおすすめしていきたいと思っています。



新潟県内図書館や博物館などの貴重な所蔵資料を閲覧できる「越後佐渡デジタルライブラリー」も一般開放している。

データベース導入によるビジネス支援

——新潟市立中央図書館 伊藤幸子さん 菅原裕美さん

もともとは沼垂図書館という図書館だったのですが、6年前に移転して中央図書館としてオープンしました。施設が広がった分、データベーススペースも設置してビジネス支援にも力を入れるようになりました。現在は、新聞雑誌系と「JRS 経営情報サービス」、「D1-Law.com 第一法規法情報総合データベース」、農業情報の「ルーラル電子図書館」を一般利用者用、「ジャパンナレッジ」は職員のレファレンス用として導入しています。そして、今年は士業の方や農業従事者向けのデータベース利用講座の開講を考えています。

今やネットで検索するというのは当たり前で、法律や経営情報も得ることはできます。ただ、もっと専門的な知識を網羅的に調べるといのはなかなか難しいですし時間も必要です。そのためにも、講座を通じてデータベースの上手な活用法を知ってもらいたいと思っています。

多忙なビジネスパーソンのみなさんに時間を割いてでも来ていただけるように、信頼性のある情報を提供できるよう努力しています。



JKで未来を担う人材育成を

——上越市立直江津図書館 高木彩子さん

オンラインデータベースの初心者教室を、週に計4回午前と午後2回ずつ実施しています。手とり足とり教えさせていただき、最後に例題を出題して自分で調べていただくという感じですね。クイズ形式にするとお子さんにも喜んでいただけますね。

もちろん生涯学習のツールとしてもJKは有効だと思います。個人的にはこれから大学に進学して将来を担う学生たちの勉強のツールになればいいなと思っています。そういう意味でも、図書館と学校とが連携を図って調べ学習のツールとしてアピールできると良いですね。数年ほど前から情報処理の授業が高校でも始まって、中学校でもインターネットを使う授業が当たり前になってきていると思うのです。そういう場で、これからの時代はオンラインデータベースというツールが活用されるのですね。

